

国土の繁栄と平和をまもろう

本会は自衛隊員の激励及び慰問、退職隊員の就職協力等を行うと共に自衛隊の諸行事に協力し隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力するを目的とする。



第227号

令和6年7月1日

発行所 大阪防衛協会 (541-0041) 大阪市中央区北浜3丁目5番19号 淀屋橋ホワイトビル701号 TEL06-6202-8284 E-mail:ek@ace.odn.ne.jp 発行人 井上之 編集責任者 姥原康治 印刷所 (株)DNPメディアサポート

令和6年度会員総会終わる (創立60周年記念)

大阪防衛協会は令和6年度会員総会(創立60周年記念)を6月13日、自衛隊から中部方面総監小林陸将、海自呉総監二川海将、第3師団長佐藤陸将外25名、会員約270名の参加を得て大阪のホテルで盛大に実施した。総会行事の後、記念講演会ではジャーナリスト櫻井よしこ氏の「日本の針路と誇りある国づくり」と題して熱弁を振い、その後4年ぶりの懇親会で盛り上がり、創立60周年を祝った。(2面に令和5年主要成果と令和6年事業計画掲載)

会長挨拶文

本日ここに令和6年度大阪防衛協会会員総会を開催いたしましたところ大変お忙しい中、小林中部方面総監を始め、多数のご来賓ならびに会員の皆様にご出席をいただきまして誠に有り難うございます。厚く御礼申し上げます。最初に大阪防衛協会の歴史を簡単に申し上げますと、昭和38年1月、北陸地方が大豪雪に見舞われ、交通が途絶し、新潟地方が孤立してしまつた状況が数カ月続きました。自衛隊に対しまして即災害

大阪防衛協会会員総会



櫻井よしこ氏が熱弁 「日本の針路と誇りある国づくり」 「今日の日本は目の前のロシア・中国・北朝鮮についてどのように対処するかという問題に直面して核に対して通常の兵力は戦えないのか。さらに戦う(闘う)とはどういうことか?自衛隊の本来的な在り方を問いつつ、自衛隊の本統合してわが国を守り抜きましょう!」と圧倒的な情報量を駆使して国家の核心に迫る熱き講演会となつた。

大阪防衛協会創立60周年総会表彰

- 【特別会員】(50年以上継続) 株式会社みずほ銀行、小倉屋(株)、濱田プレスエ芸(株)、(株)きんでん、(株)ダイヘン、日本電気化学工業所(株)、サントリーホールディングス(株)、積水ハウス(株)、太陽工業(株)
【個人会員】 今西 恭晟 平成22年から降理専長として、会員増勢(146名)
梅谷 忠洋 平成11年から機関紙に「夕暮れの街」掲載、講演
木村 益英 会員増勢(令和5年5月逝去)
倉智 順子 50年以上永続会員、会員増勢(44社)
高垣 博 会員増勢
田中 宏一 50年以上永続会員
中山 泰秀 50年以上永続会員(親子2代にわたり)
堀江 珠喜 平成12年から機関紙に「女ごころの防衛論」掲載

総理大臣の耳に入り、丁寧に断りがありました。それでは今後とも自衛隊に対する国民の理解を深めるとともに自衛隊を激励しようという趣旨で昭和39年2月24日、大阪防衛協会が発足したのであります。本年の2月24日であり、60年となりました。この間、歴代会長を始め、会員の皆様の熱意と暖かい協力に支えられ、自衛隊に対する激励・支援と防衛思想の普及に努めて参りました。60年の長きにわたり当協会の維持・発展にご尽力いただいた多くの熱心な先人と現在の会員の皆様には心から敬意を表する次第であります。さて皆さまご承知の通り、最近の世界情勢は激変し、わが国は内憂外患の時代を迎えている中、自衛隊の行動に対する期待は高まるばかりでございますが、これに伴って自衛隊の任務はさらに増大多様化し、指揮官はもとより、隊員一人一人に至るまで今まで以上に重大な責任と熟練された能力が要求されることとなります。国民の安全は経済が安定し、バランスのとれた防衛力を整備し、国民が「自分の国は自分達で守ろう」という自衛の精神の存在が不可欠であります。すなわち、この国民の「自分の国は自分たちで守る」という健全な精神と気概を持つことが、大きな抑止力となり、その気概を示す一つの手段が大阪防衛協会の存在であり、その存在意義は益々高くなるものと考えております。そのような意味で防衛協会の活動を通じて自衛の精神を一層国民に根付かせるべく啓蒙活動に力を入れて参りたいと思っております。そのためには、なんと云いましても財政基盤の充実すなわち会員の増強が必要となります。会員の皆様には自衛の精神を周りに人に吹き込むとともに一人でも多く会員になつていただくよう、益々のご支援ご協力を切にお願ひするものであります。陸・海・空自衛隊におかれましては今後ともあらゆる事態に速やかに対処でき、国民から信頼され、かつ尊敬される強い部隊を練成される様心からお願い申し上げます。最後に陸・海・空自衛隊の祈りし、ご挨拶いたします。令和6年6月13日 大阪防衛協会会長 井上礼之

- 60年継続の特別会員(32社) 大阪ガス(株)、(株)大林組、(株)池田泉州銀行、関西電力(株)、近鉄グループホールディングス(株)、(株)クボタ、(株)産経新聞大阪本社、住友化学(株)、日本製鉄(株)、三井住友信託銀行(株)、住友生命(株)、住友生命(株)、住友電業(株)、(株)ダイキン工業(株)、大日本除虫菊(株)、ダイビル(株)、武田薬品工業(株)、(株)竹中工務店、(株)電通関西支社、東洋紡(株)、南海電気鉄道(株)、日本板硝子(株)、(株)日本経済新聞社大阪本社、(株)日本生命(株)、(株)パナソニックホールディングス(株)、阪急電鉄(株)、(株)阪急阪神ホテルズ、(株)阪急阪神百貨店、(株)三菱UFJ銀行、読売新聞大阪本社 (創立50周年総会時に表彰)

あなたは誰のために 戦(闘)いますか? 大阪防衛協会創立60周年総会が無事終わった。60年の歴史特別に大阪防衛協会設立の経緯等調べてゆくうちに多くのことを学んだ。その中でも警察予備隊発足から昨年十月までの自衛隊員殉職者は2080人となり今年に入つて四月二十日海上自衛隊の2機のヘリコプターが太平洋上で墜落し8人の隊員が殉職した。全ての自衛官は入隊の際、誓いの宣誓を行い、「...ことに望んで危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえる」ことを誓い、日夜訓練に励んでいる。因らずもこの度の櫻井よしこ氏の講演の中で「自衛官の皆様はもし国家の存亡をかけた戦いに何のために誰のために戦いますか?」言い換えれば「あなたは何のために戦うのか、誰のために死ぬのか」を考えなければならぬ。他の民主主義国では行政、立法、司法があつて軍隊があり、その国の一番の大事な価値観に忠誠を尽くす形で存在する。それではわが国自衛隊では誰に忠誠を尽くせばよいのだろうか?最高指揮官である行政の長たる総理大臣のために命をささげることが出来るか?というところがではない。それでは誰のためなら、死ぬるかに対しては父母、兄弟、子供そして国民のためなら?そして崇高な国家の権威としての国家の本当の日本の権威としての国家の本当の日本国民の象徴であり、日本国民の統合の権威である皇位というものに対して忠誠でなければならぬ。しかしながら国家の根幹をなす、国家のために戦う者の条項がない憲法はやはりおかしい。と述べている。世界中が気候変動も相まって未曾有の混沌に遭遇している現在、憲法改正は一刻の猶予もない。そして我々国民は一人一人がそれぞれの任務を忠直に全うすることが迫られている。(令和6年7月10日KE)

# 令和6年度会員総会概要 第一、令和5年度成果 と事業報告について

## 一、全般成果概要

大阪防衛協会は「自衛隊員の  
激励及び慰問、退職隊員の就職  
協力をを行うとともに自衛隊の諸  
行事に協力し、隊員との親睦を  
図り、防衛思想の普及並びに隊  
員の健全な育成発展に協力す  
る」ことを目的とし、当初の計  
画を概ね実行できた。

## 二、令和6年度事業計画

(1)自衛官の激励慰問に関しては  
1月1日に発生した能登半島  
地震の近畿地区からの災害派  
遣部隊約2千名に対し、激励  
品を贈った。

また例年恒例の大阪府下の  
入隊入校予定者に対する激  
励、中部方面混成団(新隊員  
教育隊等)を激励、女性部会  
による女性自衛官激励慰問等  
を実施し、自衛官を直接激励  
するとともに士気の高揚に貢  
献することが出来た。

さらに海上自衛隊練習艦隊  
歓迎・壮行会に参加すると  
ともに実習生に記念品並びに同

乗組員に対し激励品を贈つ  
た。また中部方面隊創立記念  
日行事において大坪副会長が  
祝辞を述べるとともに、第3  
師団創立記念行事、阪神基地  
隊開隊記念日行事に多くの会  
員が参加した。

(2)防衛思想の普及に関しては機  
関紙「まもり」を計画通り4  
回発行するとともに令和5年  
度会員総会時に井上和彦氏  
(ジャーナリスト)が「ウク  
ライナ戦争のゆくえと日本の  
安全保障」という演題で講演  
を行い、約150名の会員の  
参加を得た。

また関西安全保障セミナー  
「来年の大統領選挙を見据え  
た日米同盟の今後」が京都で  
行われ、多くの参加者を得た。  
さらに大阪防衛協会創立60周  
年を記念してオリジナルカレ  
ンダーを作成配布した。

(3)会勢の拡大に関しては、特別  
会員9社(退会2社)、賛助  
会員9名(退会20名)、普通  
会員27名(退会17名)の成果  
を得た。賛助会員退会者が前  
年より上回ったのは会員の老  
齢化の影響が考えられる。

(4)財政基盤に関しては令和5年  
度収入目標を約146万円上  
回り、支出は約24万円多く全  
体として予算よりプラスを維  
持することが出来た。

(5)平成29年7月以来グランリ  
ゾート会員の募集を継続して  
いるが、会員が230名に達  
し、令和5年度50名が利用し、  
累積数約711名となった。

二、令和6年度事業計画  
(1)活動の基本方針  
大阪防衛協会は「自衛隊員の  
激励及び慰問、退職隊員の就  
職協力をを行うとともに自衛隊  
の諸行事に協力し、隊員との  
親睦を図り、防衛思想の普及  
並びに隊員の健全な育成発展  
に協力する」ことを目的とし、  
自衛隊を積極的に激励・支  
援し、その士気を鼓舞すると  
ともにあらゆる機会を通じ、  
自衛隊と国民との一体感の醸  
成を図り、自衛隊に対する協  
力体制の強化に努める。

(2)激変する内外情勢及び防衛の  
意義・役割について世論を啓  
発し、国民の防衛に関する理  
解と認識をさらに深める。

## 事業細目表

事業項目	事業細目	時期(回数)	事業内容
激励慰問	PKO・災害派遣部隊等 激励	その都度	激励金・慰問品等贈呈
	一般部隊激励慰問	その都度	練習艦隊歓迎会、 WAC慰問品贈呈
	新入隊員激励	その都度	入隊激励会、 記念品贈呈
	入院患者見舞慰問	1回	見舞い、慰問品贈呈
	殉職隊員遺族弔問	1回	供花・弔慰金贈呈
援 護	募集協力	1回	優秀広報官に対する 記念品贈呈等
	音楽隊協力	その都度	音楽祭り協賛
	広報	1回	写真コンテスト賞品贈呈
防衛思想 の普及	機関紙の発行	4回	「まもり」(年4回)
	大阪防衛協会しおりの作成	1回	
	講演会	1~2回	国防に関する講演
	演習等見学	1~2回	富士火力演習、 研修旅行(韓国地区予定)
	協会HP開設	その都度	インターネット活用
	記念タオルの作成配布	1回	
行事協力	部隊・学校等行事協力	その都度	後援・主催・行事参加
	講話(隊員対象)	年3回	陸・海・空初級幹部に 対する講話
会 議	当協会関連	その都度	会員総会、理事会、 運営委員会等
	全国防衛協会関連	その都度	総会、理事会、青年部 及び婦人部研修会

我々が国を取り巻く安全保障環境が近年一層厳しさを増す中、関係者  
の努力は並大抵のものでないことを十分理解し、応援しています。そ  
の一方で国民の国防意識や自衛隊に対する理解は、残念ながら決して  
高くはありません。そのため、国防に関する記述が欠落している憲法  
をできるだけすみやかに改正して、国防の中核たる自衛隊の位置づけ  
を明確化することを要望します。憲法改正により、国民の自らの国を  
守るとの国防意識が高まるとともに自衛隊に対する理解が格段に進む  
ものと確信します。

**第二点 国防意識の高揚を図るための各種施策の充実**  
憲法改正と同様に、国防のさらなる充実を図る上で、国民一人一人  
が、国家に対する誇りと国防に取り組むことの重要性について、正し  
く理解することは極めて重要です。そのため、学校教育の場はもちろ  
んのことあらゆる機会を通じて、国防意識の高揚を図るための各種施策  
の充実を要望いたします。これにより、自衛隊に対する理解もさらに  
促進するものと確信します。

**第三点 自衛官の処遇向上**  
自衛官及び自衛隊部隊等に対する施策は、逐次充実してきており、  
関係各位のご努力に深甚なる敬意を表します。しかしながら大変なご  
努力にもかかわらず、自衛官の処遇は、諸外国軍人の処遇と比較して  
もなお不十分であり、国家として自衛官の責任感、使命感に込められ  
ていないと感じます。自衛官の特殊性を十分に考慮した各般の処遇を  
改善することで、現職自衛官の任務遂行に国家として報いると共に、  
大変に困難な状況にある自衛官募集の問題を解決することにもつな  
がると確信します。以上要望します。令和六年六月

全国防衛協会連合会  
会長 大宮 英明

※7月全国防衛協会連合会会長から政府、各政党に提言する。

来賓挨拶、祝電披露、表彰  
「60年の歩み」説明を行った。  
○祝電披露(メッセージ)  
以下の方々からお祝いのメッ  
セージを頂いた。

・防衛大臣 木原 稔  
・衆議院議員 佐藤茂樹  
・衆議院議員 伊東信久  
・衆議院議員 森山浩行  
・衆議院議員 石川博崇  
・参議院議員 佐藤正久  
・参議院議員 松川るい  
・左藤 章  
・元防衛副大臣 中山泰秀  
・元防衛副大臣 大西宏幸  
・元防衛政務官 大西宏幸  
・全国防衛協会連合会 会長 大宮英明

**第三、記念講演会について**  
演題「日本の針路と誇りある国づ  
くり」櫻井よしこ氏が講演

令和6年度防衛問題に関する要望書  
全国防衛協会連合会は、各都道府県防衛協会の連合体として「防衛  
意識の高揚」と「自衛隊への支援・協力」を目的に活動しています。  
共通の目的を持つ民間有志の集まりとして国民としての目線から防衛  
問題に関して要望するものです。

**第一点 憲法改正**  
我々が国を取り巻く安全保障環境が近年一層厳しさを増す中、関係者  
の努力は並大抵のものでないことを十分理解し、応援しています。そ  
の一方で国民の国防意識や自衛隊に対する理解は、残念ながら決して  
高くはありません。そのため、国防に関する記述が欠落している憲法  
をできるだけすみやかに改正して、国防の中核たる自衛隊の位置づけ  
を明確化することを要望します。憲法改正により、国民の自らの国を  
守るとの国防意識が高まるとともに自衛隊に対する理解が格段に進む  
ものと確信します。

**第二点 国防意識の高揚を図るための各種施策の充実**  
憲法改正と同様に、国防のさらなる充実を図る上で、国民一人一人  
が、国家に対する誇りと国防に取り組むことの重要性について、正し  
く理解することは極めて重要です。そのため、学校教育の場はもちろ  
んのことあらゆる機会を通じて、国防意識の高揚を図るための各種施策  
の充実を要望いたします。これにより、自衛隊に対する理解もさらに  
促進するものと確信します。

**第三点 自衛官の処遇向上**  
自衛官及び自衛隊部隊等に対する施策は、逐次充実してきており、  
関係各位のご努力に深甚なる敬意を表します。しかしながら大変なご  
努力にもかかわらず、自衛官の処遇は、諸外国軍人の処遇と比較して  
もなお不十分であり、国家として自衛官の責任感、使命感に込められ  
ていないと感じます。自衛官の特殊性を十分に考慮した各般の処遇を  
改善することで、現職自衛官の任務遂行に国家として報いると共に、  
大変に困難な状況にある自衛官募集の問題を解決することにもつな  
がると確信します。以上要望します。令和六年六月

全国防衛協会連合会  
会長 大宮 英明

※7月全国防衛協会連合会会長から政府、各政党に提言する。

役職	氏名	所属
会長	井上 礼之	ダイキン工業(株)名誉会長
副会長	坪 文雄	パナソニックホールディングス(株)特別顧問
理事	佐藤 義雄	住友生命(株)特別顧問
理事	角 和夫	阪急電鉄(株)代表取締役会長
理事	津村 準二	東洋紡(株)名誉顧問
理事	本庄 武宏	大阪ガス(株)取締役会長
理事	今西 恭晟	今西土地建物(株)代表取締役会長
常任理事	倉智 英吉	(株)日本電気化学工業所専務取締役
常任理事	澤端 正人	ダイキン工業(株)前特種事業部長
総務	関 総一郎	(公社)関西経済連合会専務理事
総務	井内 摂男	大阪商工会議所専務理事
総務	池上 淳子	小倉屋(株)代表取締役社長
総務	浮舟 邦彦	滋慶学園グループ総長
総務	衣斐 孝雄	富士電機産業(株)取締役会長
総務	蔭山 秀一	(株)ロイヤルホテル代表取締役社長
総務	加藤 浩輔	(株)加藤均総合事務所代表取締役社長
総務	鷲岡 和徳	(株)徳代表取締役
総務	更家 悠介	サラヤ(株)代表取締役社長
総務	鈴木 篤	エイチツー・オリティン(株)特別顧問
総務	銭高 一善	(株)銭高組取締役会長
総務	竹中 統一	(株)竹中工務店取締役名誉会長
総務	田島 哲康	サカイ引越センター代表取締役社長
総務	田嶋 英雄	三力ミノルタ(株)名誉顧問
監事	高垣 博	(株)常和代表取締役
監事	濱野 晃吉	(株)経営センター取締役会長
監事	蛸原 康治	(株)中村屋相談役
監事	山本 一樹	全国防衛協会連合会常任理事
監事	藤江 正鎮	大阪護国神社宮司
監事	廣瀬 茂夫	(社)関西経済同友会 常任幹事・事務局長
監事	東 昌伸	東田商工(株)専務取締役
監事	西村 貞一	(株)サクラクレパスホールディングス代表取締役会長
監事	西川 雅夫	セキセイ(株)代表取締役会長CEO
監事	永田 昭仁	(株)住友倉庫代表取締役社長
監事	永木 康司	大東市商工会議所前会長
監事	仲井 嘉浩	積水ハウス(株)代表取締役社長
監事	鳥井 信吾	サンテレビホールディングス(株)代表取締役副会長
監事	寺田 千代乃	アート引越センター(株)名誉会長
監事	辻井 正房	千里丘タクシー(株)相談役
監事	津田 潮	津田産業(株)社長
監事	辻 輝也	前全国青年部会長

(令和6年度6月13日現在)

大阪防衛協会役員名簿

令和8年6月まで  
よろしくお願ひ致します。

### 大阪防衛協会創立60周年 「38豪雪災害派遣」と 大阪防衛協会の設立の 経緯

(その2)

自衛隊支援のための募金は当時の関経連業務部長高橋弥次郎のもとで行われた。高橋は早速、関経連の理事以上の役員会社に募金をお願いした。目標額は5〜600万円位とし、「当時の中部方面総監部の田熊利三郎幕僚長に連絡を取り、関経連として今回の除雪作業に出勤した自衛隊員に対し激励の慰問金を集めているので受け取れるか否かの合意をとっておいて欲しい」と根回した。田熊幕僚長は方面

総監とも相談し、「喜んで頂戴させて戴く」と返事したという。一方、関経連の常任理事であった工藤友恵30も防衛研修所所長の佐伯喜一に連絡を取った。工藤は「関西の財界が北陸豪雪の除雪作業に活躍した自衛隊員の慰問をする為に募金をしているので、近々防衛庁へ集めたお金を持って行く」と述べたという。それに対して、佐伯は「これは有難いことでは是非進めて戴きたい、ともすれば自衛隊員は日陰者のように見られている、これを契機に自衛隊の認識を新たにして戴くことができれば大変有意義なことだ」と関西財界人の理解

ある行動は全日本人に対する尊い教訓にもなり、正に一服の清涼剤とも言えるもので自衛隊内部の者にとつては実に有難いことで、全自衛隊員にとつてもどれだけ激励になるかわかりませんと心から感謝を述べたのであった。募金は順調に進み、目標額の倍以上の1,200万円が集まった。その後、阿部孝次郎関経連会長、大原総一郎関経連副会長、工藤友恵関経連常任理事らが志賀防衛庁長官と面会し、集まった1,200万円を慰問金として手渡した。だが、金額が余り大きかったため、志賀防衛庁長官は池田勇人首相に報告し、阿

部らは首相官邸へ行くことになった。事の経緯を聞いた池田は深々と頭を下げ、「関西の財界人に対して心からお礼を申し上げたい、このことは災害に出勤した全隊員に伝達することにしよう。然しこのお金は受け取ることはできない」と述べたのであった。池田が受け取りを辞退した背景には、当時、共産党や社会党などから国防問題にすべて反対されており、国会で批判されることを懸念したという事情があった。結局、1,200万円は、若干の金利を付けて元の寄付者に返却されることになった。その後、高橋は

田熊幕僚長と相談を重ねた。高橋は、集まった金額が1,200万円もの大金であったことから、財界と自衛隊が癒着していると誤解されるおそれがあったのではなにかと考えるに至った。さらに、田熊幕僚長も「これが防衛協会や協力会といった自衛隊の応援団体からのものであれば問題はなかったのではなかるか」との考へに至った。そして「これを機会にして、是非大阪にこれに類した団体を作って貰えないか」と高橋に要請した。幸いにも高橋は当時大阪府知事であった左藤義詮と面識があった。左藤義詮とは、1958年6月から59年1

月まで岸内閣で第12代防衛庁長官を務めた後、1959年4月から71年4月まで3期12年にわたり大阪府知事を務めた人物である。この時、左藤はすでに関経連を中心に防衛協会設立の動きがあることを中部方面総監部から聞いていた。そして直接高橋に電話し、「是非大阪に防衛協会を作って貰いたい、自分で出来ることはなんでも協力するから遠慮なく言っその後の具体的な設立準備は、工藤関経連常任理事の指導のもと行われた。高橋が理事の人選について工藤に相談を求めた際、工藤から「協会の理事は老人より若手現役社長ばかりを集めて、生のい

い元氣な役員にするように」との指示を受けたという。これを受けて、高橋は若い人たちの名を連ねることにした。その後、大阪市内各社への理事の依頼は全て終わり、残すは門真にある松下電器一社のみとなっていた。当時、松下電器は松下正治が社長を務めていた。そのため、理事には若い現役社長として松下正治が候補に挙がっていた。しかし同時に会長を誰にするかという問題がまだ残っていた。中には、初代会長は阿部関経連会長の兼任でもよいのではなにか、という案もあったが、阿部は忙しかったため断ったという。(以下次号)

### 連載エッセイ

### 夕暮れの街 その105

新渡戸稲造・武士道 93



M&U スクール学長 梅谷 忠洋 (フルート奏者・「おもしで酒」作曲家)

高度な教育、極度に発達したAI (Artificial Intelligence 人工知能)、テレビすら見なくなった若者達、家に居ながら銀行との取引が簡単になった金融システム、取捨選択自由な情報：文明の発達は、凄まじい速度で現在進行中です。

私は最近「ゴジラ1.0」を見てきました。この映画は山崎貴監督作品で、彼はこれまでにも「永遠の0」や「アルキメデスの大戦」など我が国で日本人の国民性を繊細に表現した多くの大ヒット映画を世に輩出している人物です。こんな素晴らしい作品の内実は、ほとんどAIで作られているのです。

ある行動は全日本人に対する尊い教訓にもなり、正に一服の清涼剤とも言えるもので自衛隊内部の者にとつては実に有難いことで、全自衛隊員にとつてもどれだけ激励になるかわかりませんと心から感謝を述べたのであった。募金は順調に進み、目標額の倍以上の1,200万円が集まった。その後、阿部孝次郎関経連会長、大原総一郎関経連副会長、工藤友恵関経連常任理事らが志賀防衛庁長官と面会し、集まった1,200万円を慰問金として手渡した。だが、金額が余り大きかったため、志賀防衛庁長官は池田勇人首相に報告し、阿

部らは首相官邸へ行くことになった。事の経緯を聞いた池田は深々と頭を下げ、「関西の財界人に対して心からお礼を申し上げたい、このことは災害に出勤した全隊員に伝達することにしよう。然しこのお金は受け取ることはできない」と述べたのであった。池田が受け取りを辞退した背景には、当時、共産党や社会党などから国防問題にすべて反対されており、国会で批判されることを懸念したという事情があった。結局、1,200万円は、若干の金利を付けて元の寄付者に返却されることになった。その後、高橋は

田熊幕僚長と相談を重ねた。高橋は、集まった金額が1,200万円もの大金であったことから、財界と自衛隊が癒着していると誤解されるおそれがあったのではなにかと考えるに至った。さらに、田熊幕僚長も「これが防衛協会や協力会といった自衛隊の応援団体からのものであれば問題はなかったのではなかるか」との考へに至った。そして「これを機会にして、是非大阪にこれに類した団体を作って貰えないか」と高橋に要請した。幸いにも高橋は当時大阪府知事であった左藤義詮と面識があった。左藤義詮とは、1958年6月から59年1

月まで岸内閣で第12代防衛庁長官を務めた後、1959年4月から71年4月まで3期12年にわたり大阪府知事を務めた人物である。この時、左藤はすでに関経連を中心に防衛協会設立の動きがあることを中部方面総監部から聞いていた。そして直接高橋に電話し、「是非大阪に防衛協会を作って貰いたい、自分で出来ることはなんでも協力するから遠慮なく言っその後の具体的な設立準備は、工藤関経連常任理事の指導のもと行われた。高橋が理事の人選について工藤に相談を求めた際、工藤から「協会の理事は老人より若手現役社長ばかりを集めて、生のい

い元氣な役員にするように」との指示を受けたという。これを受けて、高橋は若い人たちの名を連ねることにした。その後、大阪市内各社への理事の依頼は全て終わり、残すは門真にある松下電器一社のみとなっていた。当時、松下電器は松下正治が社長を務めていた。そのため、理事には若い現役社長として松下正治が候補に挙がっていた。しかし同時に会長を誰にするかという問題がまだ残っていた。中には、初代会長は阿部関経連会長の兼任でもよいのではなにか、という案もあったが、阿部は忙しかったため断ったという。(以下次号)

良いのに」と、単純に考えでしてしまいます。これは、戦争に代表されるように人を殺す為の武器などは国家を挙げて智慧を搾り、開発に勤しむのに、平和に対する努力はほとんど行われぬのと同じではないでしょうか。

そんな観点から周囲の人達を観察すると、人を愛でる行為よりも貶める言動は苦もなく実行に移しています。このような観点ばかり目にしてゆくと、私自身、中国の思想家・荀子の「性悪説」の虜になっ

なぜ悪いことは蔓延しやすいのでしょうか？ 諺にも「他人の不幸は蜜の味」とあるように、人々はFake NEWSや流言(デマ)に惹かれるのでしょうか。卑語・流言(デマ)の特徴や性質を研究したアメリカの心理学者G・W・オルポート博士は次のような方程式で表しました。

「R(デマの流布量) = I(重要性) × A(曖昧さ)」 この式によると、デマがどれくらいまで広く流布するかという「流布量」は、自分が

受け取った情報が、「その人にとつてどれくらい重要であるか」と、「その情報に関する根拠や証拠がどれくらい曖昧であるか」の積によって導き出されるのです。つまり、自分にとつて興味や関心の度合いが高く、且つ、より不確実な内容であればあるほどデマは広がりやすくなるということを表しているのです。これに私の考えを一つ加えますと、我々人間は「自分が正しい」という「御身大切さ」が、さも事実・真実であるかのように流布する癖がそれに拍車を掛け、その根底には我々人間が他者と競争するとき、「勝とう、勝とう！」とする「闘争心」が潜在意識に備わっており、それが極めて自然に顔を出すように感じます。こういう人間を私は「かとう(下等)動物」と呼んでいます。

もう一人、日系アメリカ人の社会学者で社会心理学者であるタモツ・シブタニ氏は、流言を「情報の真偽がハッキリとせず、それを確認するための情報も不足した曖昧な状況に巻き込まれた人間が、自分達の知識を

だれでも「騙されたくない」という警戒心を持っています。この本能から来る警戒心を乱される要因として、我々の心には「同情心」があります。年寄りや子供には、我々は警戒心を解きます。また、「制服や肩書、容姿」なども同様です。そして、初対面の人でも「私はあなたのお爺さんと同じ合いです」などと家族や共通の知人の名前を出されると警戒心は弛みます。従って「関係性や縁故」で迫ってくる輩も要注意です。

「Fishing Mail」やオレオレ詐欺に代表されるような悪質なFAKEが横行しているのが現状です。我がパソコンにも毎日毎夜、悪質な内容のものが大量に入ってきます。それも、よく注意しないとその巧妙性から引っかけられてしまいうすです。それらをよく観察すると、とても頭脳明晰な連中の仕事だということが分かります。

私は「あれだけ人を騙す能力があるなら、その才能をもっと世の為人の為に使えば

「R(デマの流布量) = I(重要性) × A(曖昧さ)」 この式によると、デマがどれくらいまで広く流布するかという「流布量」は、自分が

受け取った情報が、「その人にとつてどれくらい重要であるか」と、「その情報に関する根拠や証拠がどれくらい曖昧であるか」の積によって導き出されるのです。つまり、自分にとつて興味や関心の度合いが高く、且つ、より不確実な内容であればあるほどデマは広がりやすくなるということを表しているのです。これに私の考えを一つ加えますと、我々人間は「自分が正しい」という「御身大切さ」が、さも事実・真実であるかのように流布する癖がそれに拍車を掛け、その根底には我々人間が他者と競争するとき、「勝とう、勝とう！」とする「闘争心」が潜在意識に備わっており、それが極めて自然に顔を出すように感じます。こういう人間を私は「かとう(下等)動物」と呼んでいます。

もう一人、日系アメリカ人の社会学者で社会心理学者であるタモツ・シブタニ氏は、流言を「情報の真偽がハッキリとせず、それを確認するための情報も不足した曖昧な状況に巻き込まれた人間が、自分達の知識を

だれでも「騙されたくない」という警戒心を持っています。この本能から来る警戒心を乱される要因として、我々の心には「同情心」があります。年寄りや子供には、我々は警戒心を解きます。また、「制服や肩書、容姿」なども同様です。そして、初対面の人でも「私はあなたのお爺さんと同じ合いです」などと家族や共通の知人の名前を出されると警戒心は弛みます。従って「関係性や縁故」で迫ってくる輩も要注意です。

このように嘘と本当の境目は曖昧です。自分の行動や思考を、もう一人の自分と観察し管理することを習慣化して、常に一呼吸置く訓練を身につけることをお勧めします。つまり、「自観法」を修得するのです。便利な世になるほどFAKEが多くなるのは「大宇宙の摂理」です。今後も、お互いに用心しながら誠実な社会を作つてゆく側に回る覚悟から始めれば、意外と簡単に「嘘」を見抜く眼力を持つことが出来るでしょう。

「Fishing Mail」やオレオレ詐欺に代表されるような悪質なFAKEが横行しているのが現状です。我がパソコンにも毎日毎夜、悪質な内容のものが大量に入ってきます。それも、よく注意しないとその巧妙性から引っかけられてしまいうすです。それらをよく観察すると、とても頭脳明晰な連中の仕事だということが分かります。

私は「あれだけ人を騙す能力があるなら、その才能をもっと世の為人の為に使えば

「R(デマの流布量) = I(重要性) × A(曖昧さ)」 この式によると、デマがどれくらいまで広く流布するかという「流布量」は、自分が

受け取った情報が、「その人にとつてどれくらい重要であるか」と、「その情報に関する根拠や証拠がどれくらい曖昧であるか」の積によって導き出されるのです。つまり、自分にとつて興味や関心の度合いが高く、且つ、より不確実な内容であればあるほどデマは広がりやすくなるということを表しているのです。これに私の考えを一つ加えますと、我々人間は「自分が正しい」という「御身大切さ」が、さも事実・真実であるかのように流布する癖がそれに拍車を掛け、その根底には我々人間が他者と競争するとき、「勝とう、勝とう！」とする「闘争心」が潜在意識に備わっており、それが極めて自然に顔を出すように感じます。こういう人間を私は「かとう(下等)動物」と呼んでいます。

もう一人、日系アメリカ人の社会学者で社会心理学者であるタモツ・シブタニ氏は、流言を「情報の真偽がハッキリとせず、それを確認するための情報も不足した曖昧な状況に巻き込まれた人間が、自分達の知識を

だれでも「騙されたくない」という警戒心を持っています。この本能から来る警戒心を乱される要因として、我々の心には「同情心」があります。年寄りや子供には、我々は警戒心を解きます。また、「制服や肩書、容姿」なども同様です。そして、初対面の人でも「私はあなたのお爺さんと同じ合いです」などと家族や共通の知人の名前を出されると警戒心は弛みます。従って「関係性や縁故」で迫ってくる輩も要注意です。

このように嘘と本当の境目は曖昧です。自分の行動や思考を、もう一人の自分と観察し管理することを習慣化して、常に一呼吸置く訓練を身につけることをお勧めします。つまり、「自観法」を修得するのです。便利な世になるほどFAKEが多くなるのは「大宇宙の摂理」です。今後も、お互いに用心しながら誠実な社会を作つてゆく側に回る覚悟から始めれば、意外と簡単に「嘘」を見抜く眼力を持つことが出来るでしょう。

「Fishing Mail」やオレオレ詐欺に代表されるような悪質なFAKEが横行しているのが現状です。我がパソコンにも毎日毎夜、悪質な内容のものが大量に入ってきます。それも、よく注意しないとその巧妙性から引っかけられてしまいうすです。それらをよく観察すると、とても頭脳明晰な連中の仕事だということが分かります。

私は「あれだけ人を騙す能力があるなら、その才能をもっと世の為人の為に使えば

「R(デマの流布量) = I(重要性) × A(曖昧さ)」 この式によると、デマがどれくらいまで広く流布するかという「流布量」は、自分が

受け取った情報が、「その人にとつてどれくらい重要であるか」と、「その情報に関する根拠や証拠がどれくらい曖昧であるか」の積によって導き出されるのです。つまり、自分にとつて興味や関心の度合いが高く、且つ、より不確実な内容であればあるほどデマは広がりやすくなるということを表しているのです。これに私の考えを一つ加えますと、我々人間は「自分が正しい」という「御身大切さ」が、さも事実・真実であるかのように流布する癖がそれに拍車を掛け、その根底には我々人間が他者と競争するとき、「勝とう、勝とう！」とする「闘争心」が潜在意識に備わっており、それが極めて自然に顔を出すように感じます。こういう人間を私は「かとう(下等)動物」と呼んでいます。

もう一人、日系アメリカ人の社会学者で社会心理学者であるタモツ・シブタニ氏は、流言を「情報の真偽がハッキリとせず、それを確認するための情報も不足した曖昧な状況に巻き込まれた人間が、自分達の知識を

だれでも「騙されたくない」という警戒心を持っています。この本能から来る警戒心を乱される要因として、我々の心には「同情心」があります。年寄りや子供には、我々は警戒心を解きます。また、「制服や肩書、容姿」なども同様です。そして、初対面の人でも「私はあなたのお爺さんと同じ合いです」などと家族や共通の知人の名前を出されると警戒心は弛みます。従って「関係性や縁故」で迫ってくる輩も要注意です。

このように嘘と本当の境目は曖昧です。自分の行動や思考を、もう一人の自分と観察し管理することを習慣化して、常に一呼吸置く訓練を身につけることをお勧めします。つまり、「自観法」を修得するのです。便利な世になるほどFAKEが多くなるのは「大宇宙の摂理」です。今後も、お互いに用心しながら誠実な社会を作つてゆく側に回る覚悟から始めれば、意外と簡単に「嘘」を見抜く眼力を持つことが出来るでしょう。

総会風景



熱心に聴講する会員の皆様



佐藤第3師団長の乾杯で懇親会



講演する櫻井よしこ氏



櫻井先生を囲む女性会員



懇親会で挨拶する大坪副会長



青年部による万歳三唱で祝う

女心の防衛論 インバウンド雑感

大阪府立大学名誉教授 堀江 珠喜



「日本では、クリスマスにケンタッキーフライドチキンを食べるのが伝統です！」

もし日本文化紹介で、こう語られたら皆様はどう思われるだろうか？

GW後半から10日間、クイーンエリザベス号の東京湾発着クルーズに参加。客室のテレビには、船内作成の外人客向け日本語紹介チャンネル(英語)がある。

誰が原稿を書いたのか不明だが、冒頭のアホな説明があったのだ。明瞭な英語で、同じ番組が繰り返されたので私の聞き間違いではない。その証拠にカクテルパーティーで親しくなった豪人夫妻から、「KFCの件は本当か？」と尋ねられ、もちろん否定した。

翌朝、コンシェルジュに苦情。GW前後エリザベスは複数回の日本周遊クルーズを行い、約7割が日本人客なので日本人スタッフ

フも多い。このコンシェルジュも現代日本を知る者が多いのに、誰も気が付かなかったのか、無視したのか、あまりにもお粗末だ。

「すぐ担当者に連絡します」との返事だったが、その後、私自身下船まで忙しく、改訂の有無はチェックしていない。多分、そのままだろう。

KFCは些細な話だが、とんでもない作り話が歴史として語られ、日本の国益が損なわれているのではないかと、

とありえずKFCでも何でも、違うものは違うと主張するべきなのだ。さてGW前半に、旧友の英国紳士が中国系ガールフレンドと来日。我々夫婦が大阪で夕食に招かれた。在米の二人にとって円安は超ラッキー。

某世界的チェーンホテルのエグゼクティブフロア滞在の彼は、上級客担当の若い日本人コンシェル

ジュに相談してレストランを予約。ロビーで彼から店名を告げられ、私はNOと反対。それはチープな居酒屋。エグゼクティブフロアのシニア客が行く場所ではない。同じ建物内の老舗料亭Yのほうが良いと思うわ。彼は私に従い、予約変更してYへ。個室で落ち着き、彼らも満足できる会席料理で安い！と感激。ご馳走様！

新着任幹部紹介
☆中部方面総監 陸将 小林弘樹
昭和三十九年九月
静岡県防大34期
(平成2年卒)
(3月28日付)
※堀井前中方面総監はご勇退

他の外人観光客たちは、チープな内容の体験で大喜びしていたらしい。しかし高料金設定でも「さすが！」と感動しても、高レベルのコンシェルジュなら、高級ホテルコンシェルジュなら、探しておくべきだ。京都なら、富裕層向けになんとかなるはず。その夜は、3人でホテルのフレンチへ。パリの老舗レストランの支店だ。
「こんなゴージャスでサービスの良い店は、アメリカにはない！ヨーロッパでも減っている」と、彼は満足そうに支払った。パリ本店がカジュアルに改装し、東京店のほうが昔のエレガンスを保っているらしい。
「日本には、また来たい！」と上機嫌の彼女。
総支配人とシェフに見送られて、我々は店を出た。
デジタルZ世代より、我々アナログシニアのほうが、インバウンド富裕層対応のコンシェルジュに向いているように思われる。(人手不足なら、私、アルパイトに行きますぞ！) チープな日本が発信されるのは、私の愛国心が許さない！

新入会員

- 令和6年4月〜6月 ( )は推薦者名
▽特別会員 (2社)
☆中央エンジニアリング(株)
若山陽子(大西孝子)
☆ランフィールド
栗原令(倉智英吉)
▽賛助会員 (6名)
大畑加奈子(大西孝子)
渡邊建三(東昌伸)
波原恵美子(普通会員から)
阪本稜雄(木村彩)
山田由美子(横野敏彦)
勸米良遊学(寺岡多佳)
▽普通会員 (9名)
勇元博晶(関西師友協会)
若林博子(藤井千里)
加藤智久(加藤浩輔)
奥野ますみ(蛸原恵美子)
蜂谷公夫(堀下秀一)
戸田勝秀(戸田舜子)
中村徹(大西孝子)
西王子俊介、阪本恒子(以上木村彩)

行事メモ

- (令和6年7月〜10月)
○たそがれコンサート (大阪城音楽堂)
・第3師団音楽隊 7月10日(水)
・海自舞鶴音楽隊 7月17日(水)
・空自中部音楽隊 7月24日(水)
・陸自中部音楽隊 7月30日(火)
▽夏祭り関連
・伊丹・川西駐屯地 7月23日(火)
・姫路駐屯地 7月27日(土)
・奈良基地納涼祭 7月27日(土)
・桂駐屯地 8月1日(木)
・和歌山(サマフェス) 8月4日(日)
・千僧駐屯地 8月6日(火)
・大久保駐屯地 8月6日(火)
・福知山駐屯地 8月7日(水)
・青野原駐屯地 8月8日(木)
・大津駐屯地 8月8日(木)
・信太山駐屯地 8月8日(木)
・八尾駐屯地 8月8日(木)
○大阪地方協力本部創立69周年記念行事 9月7日(土)
○今津駐屯地創立72周年記念行事 9月21日(土)
○宇治駐屯地創立73周年記念行事 9月21日(土)
○中部方面隊創立64周年記念行事(伊丹) 10月6日(日)
○共通▽陸自▽海自☆空自

会員増勢運動について

大阪防衛協会は、昭和三十八年(1963)一月、北陸地方一帯を襲った豪雪に際し、自衛隊が活動した関西経済連合会を中心とする多くの財界人によって昭和三十九年二月松下幸之助氏を初代会長として創設され、平成二十六年に五十周年を迎えました。
協会は創設以来、PKO・災害派遣隊員の激励慰問、入院患者見舞い、殉職隊員家族弔慰、霊祭協力、新入隊員激励、隊員募集協力等の支援活動を行う他、機関紙の発行、講演会・フォーラムの開催、音楽隊演奏会の支援、演習等視察見学、体験飛行、航海、青年部による防衛防災フェスティバルや婚活活動等を行ってまいりました。
さらにロシアのウクライナ侵攻により世界の安全保障情勢が激変している中、令和4年12月「安全保障3文書」が公表されました。
自衛隊は今後ますます厳しい「国を守る気概」示そう！
環境と条件の中で本来の防衛任務の他、PKO活動や災害派遣行動等取り組みねばなりません。当協会はさらに事業を拡大継続するとともに、「自分の国は自分で守る」という気概を示す手段が当協会の存在と考えます。会員の皆様には会の趣旨をご理解の上、さらに会員増勢にご協力をお願い申し上げます。
会長 井上礼之
(ダイキン工業(株)取締役会長)
年会費
特別会員(法人) 一〇三万円
賛助会員 一〇一万円
普通会員 一〇三千元
家族会員 一〇二千元
※ご入会希望の方、ご紹介下さる方は事務局までご連絡下さい。
千五四一〇〇四
大阪市中央区北浜三五一一九
淀屋橋ホワイトビル701号
大阪防衛協会事務局
電話 FAX 〇六〇二一〇二八二八四
メールアドレス [ek@ace.odn.ne.jp]

図書紹介 「自衛隊と財界人の戦後史」(ミネルヴァ書房) 中原雅人著
助、その一人、安保の議論が、日陰者扱いされ、支援団体を莫大な過去の記録をもとに集大成した貴重な1冊(290ページ)
お問い合せは事務局まで
「国を守る気概」示そう！
ウイルス禍から解放されて自衛隊駐屯地等で夏祭りや記念日行事コンサート等が計画されております。最寄りの駐屯地等へお出かけいただき、自衛官に激励の声をかけていただければ幸いです。
「櫻井よしこ講演録」写真で見える大阪防衛協会60年」を作成いたしました。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。
大阪防衛協会事務局
TEL FAX 06-6202-2828 2834

事務局長より
暑中お見舞い申し上げます
令和6年度会員総会は6月13日、講師に櫻井よしこ氏の講演もあって、約300名を超える参加により、盛大に開催することが出来ました。又新たな出発点としてさらに充実発展を期したいと思います。会員の皆様にはますますご支援ご協力をお願い致します。
今年度は4年ぶりに新型コロナウイルス